

# 倉橋賞を受賞して

橋本 暢子

この度は思いがけなくもすばらしい賞をいただき、ただただ驚き感激しております。「飛び上って喜んでいる」とはこのことでしょうか。

学会に参加してみても、今更ながら研究の貧弱さ・あいまいさが身にしみ、何しろ恥ずかしくて、発表がすむと急いで会場を抜け出してしまい、夕方になってその報せを聞いたのです。この学会へは、今度初めて入らせてもらいましたので、何も知らずにそれこそその賞のあることさえ知りませんでした。発表させていたただくだけでもおこがましくも身に余る光栄なのに……。うれしきで一杯です。

「動きのリズム」の意味の解釈でさえも、まだ確固たるものがなく、雲をつかむような気持でとび込んだ世界でしたが幸い

にも学生時代からの先生のたいへんあたたかい御指導を仰ぎ、遅々としながらも研究を進めることが出来ましたのは非常に幸福なことで、心より

感謝しております。御指導なしにはきっと一歩も進めなかったことでしょ。

この受賞の喜びを単に「喜び」だけに終らせないう、この機会に更にしつかりと子ども達の姿を見つめ、子ども達の生活の中で共に考え、そしてこの研究のもつ意義を反省しつつ、よりよいもの・確かなものとなるよう努力し、研究をおすすめていきたいと思っております。常に子ども達のよりよき友達であらうと願いつつ……。

(大阪市立萱南幼稚園)

## 山松 質文

専ら発表者橋本暢子嬢に受賞の感激を伝えてもらうつもりであったが、同嬢が共同研究者である私にも書いてほしいとのことであったので私も一しよに書かせてもらうことにした。

全く夢のようで狐につままれたような気

持なので、どうもびんごない。注目されるような仕事だったのだからかと、何か急に責任感のようなものを感じた。と同時に若い橋本嬢がよろこぶ姿が頭に浮かんできた。というのは、あの日橋本嬢は当日の研究発表が終了するや、聴きに来ておられた熱心な御両親と共に帰ったので、連絡をとったがうまくいかなかったからだ。それで私が代って授与式に出た。その時も本人がいたらなアと残念に思った。

私はかねてから、主として音楽的才能の研究やまた特にリズムに関する基礎的な研究も少しばかりやっていたが、それを現場と直結した研究としてやってみたいとかねがね思っていたわけである。橋本嬢は十年間の創作舞踊の経験をもっている上に非常に子ども好きであるし、また大阪市大で児童学を専攻しているので、いろいろな意味で保育者として、殊にそのリズムの指導者および研究者として適任であると考へ、私のささやかなアイデアを教育的実験の場で実現してもらふことにしたわけである。勿論欠点だらけのものだが、若い橋本嬢の将来を祝福しつつ、共に努力をつづけたいと思っている。

(大阪市立大学)